

受付番号	株式会社 Seaside Consulting
R112060061	
事業テーマ	国内初、農地を活用した環境配慮型バナメイエビ陸上養殖事業



本事業への取組みの経緯・目的

国内漁業生産量は減少の一途をたどっています。現在、魚類養殖のほとんどが海面での網いけす養殖です。このような方法は費用面でえさ代や種苗代の割合が高く、近年はえさ代が高騰し養殖経営に大きな打撃となっています。またウイルスによる被害も発生しています。国内の養殖技術を向上させ、市場の要求に応じることが求められています。バナメイエビは病気に強く、群れを成して泳ぐ習性があり養殖水槽での飼育に適します。わが社は2021年8月バナメイエビの陸上での商業養殖を開始しました。

実施内容

休耕農地を活用した環境配慮型の陸上養殖であるため、原則排水せずに養殖水を継続して使用しています。養殖用可改水質装置・ナノバブル発生装置・養殖管理システム・バッテリー等を導入して、バナメイエビに適した環境を維持しやすくし、収量及び品質の向上を目指しました。

ナノバブル発生装置を用いて養殖水の溶存酸素濃度（DO）の向上を実現しエビの生存率を上げて生産量の拡大を実現します。養殖管理システムを導入して、DOやp hが常に測定できるようにし、水質の維持をしやすくします。



事業実施の成果

養殖水の溶存酸素濃度（DO）の向上とアンモニアを削減し、養殖水の水質の改善を実現しました。これによりバナメイエビをより美味しくより収量を上げて生産できるようになりました。



今後の展望

大手回転寿司チェーンへの出荷は2022年4月より開始しています。バナメイエビの養殖は、世界のエビ養殖の約70%を占めるが、日本ではほぼ行われていません。今後拡大の余地が大きいと考えております。



令和元年度補正 ものづくり・商業・サービス
生産性向上促進補助金

社長の一言



水温をはじめとしたデータを手動で計測していたが、補助金で常時計測器を導入したことで、家にいながらデータを見ることが出来、作業効率が格段にあがりました。水質を常時把握できることで、エビの品質向上にも役立ちました。

国産・無添加のバナメイエビの生産を農地活用で行う弊社の事業は、休耕地・耕作放棄地の活用・国内食糧自給率の向上・新たな雇用創出の面で社会に貢献できると考えております。

企業データ

主な事業・業種	水産養殖業
得意分野	エビの養殖及びコンサルティング
所在地	千葉県安房郡鋸南町下佐久間2720番
TEL	090-6839-8027
FAX	
設立	2017年3月
代表者	代表取締役 平野祐晟
従業員数	2
資本金	2,303万円
売上高	
URL	https://tsuku2.jp/seasidebianca
Email	info@seaside.green